



福島県総合スポーツ大会 一般的な感染症対策



令和5年4月1日

大会開催にあたっては、競技ごとに感染症対策及び現場対応フロー（緊急時対応計画）を作成し、感染予防及び感染拡大防止に努めて下さい。基本的な感染症対策・対応については以下を参考にし、参加者に周知してください。

<個人としての対策・対応>

- 手洗い等の手指衛生
- 飛沫感染対策（効果的な場面でのマスクの着用、喚起の確保、密接・密集を極力回避）
- 日々の健康状態（体温・体調の確認と管理）と行動の確認
- 体調不良になった際の現場対応フロー（緊急時対応計画）の確認
- 体調不良時（発熱、咳、喉の痛み、倦怠感、頭痛など）には、①コーチ等へ相談②医療機関の受診③大会への参加自粛

<チームとしての対策・対応>

- 基本的な感染症対策を関係者に周知
- 感染（疑い）者発生時の連絡体制の構築
- 関係者の健康状態・行動の把握
- 事前に構築した現場対応フロー（緊急時対応計画）に基づき対応
- 感染（疑い）者発生時の当該者以外のメンバーも含めた参加の継続は、更なるチーム内や対戦相手への感染拡大の可能性もふまえ慎重に判断

<大会主催・運営者としての対策・対応>

- 大会参加者に基本的な感染症対策を周知
- 大会参加者の連絡責任者の把握と連絡体制の構築
- 大会開催にあたっての感染症対策、現場対応フロー（緊急時対応計画）の作成
- 感染状況等により強い対策が必要な場合は速やかに周知・徹底
- 関係者の健康状態・行動の把握
- 現場対応フロー（緊急時対応計画）に基づき対応、医療機関や専門家の助言を仰ぐ
- 大会が感染拡大を誘発しないよう実施・継続の可否は慎重に判断

新型コロナウイルス自体が消滅した訳ではありません。これまで大会関係者の努力で築き上げてきた大会開催への信頼を失うことが無いよう、引き続き御協力をお願いいたします。

また、これまで周期的に発生した感染拡大の波は今後も起こり得ることであり、感染状況等によっては、これまでの新型コロナウイルス感染症対策を実行する場合があることも予め御理解ください。